

平成26年度予算要求の基本方針について

1 財政収支の見通し・予算要求の基本方針

平成26年度は、歳入面では、一般財源総額の大幅増が見込めず、県債発行の抑制も必要なため、歳入総額の伸びは期待できないこと、歳出面では、社会保障関係費が引き続き大幅に増加するほか、保有土地対策等の諸課題についても計画的に対応する必要があることから、平成26年度から平成28年度までの3年間で、510億円もの歳入不足が見込まれている。

また、来年4月の消費税率引き上げに伴う地方財政への影響も、地方消費税は増収が見込まれるものの、地方の社会保障関係費に必要な財源が、地方交付税上も十分に措置されるかなど、現時点で不透明な状況である。

こうした極めて厳しい財政状況が続いていることを十分認識のうえ、以下に掲げる方針を基本として予算編成することとする。

- (1) 着実に復旧・復興を成し遂げ、防災体制を強化すること。なお、その際には国庫補助制度や財政措置のある県債など有利な財源を最大限活用すること。
- (2) 県総合計画に掲げる、目指すべきいばらきの姿である「生活大県」の実現のため、重要性が高く、分野横断的な施策群について、重点的に推進すること。
- (3) 持続可能で健全な財政構造の確立のため、全事務事業に聖域を設けず抜本的に見直すなどの歳出改革、様々な手段による歳入確保、スクラップ・アンド・ビルドの徹底による限られた財源の重点配分などの予算編成・予算執行の改革など、第6次行財政改革大綱に掲げる財政健全化に向けた諸方策に一層徹底して取り組む。

2 平成26年度要求限度額設定方針等（東日本大震災関連事業分は別枠確保）

- (1) 義務的経費及びこれに準ずる経費 … 所要額
- (2) 一般行政費、公共以外の投資的経費

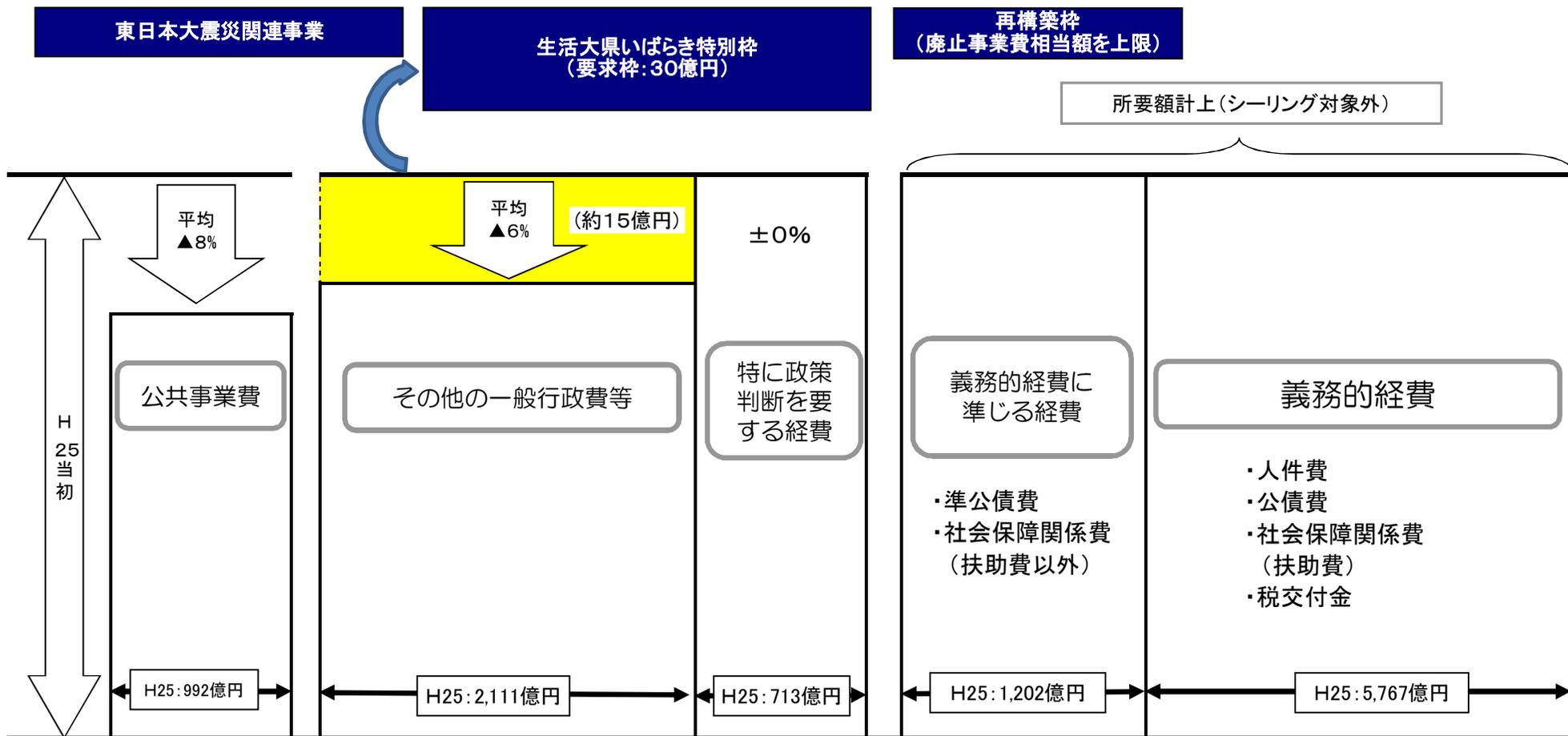
① 特に政策判断を要する経費	± 0%	}	平均で △ 6%
② 指定管理委託料、電算システム維持経費等	△ 3%		
③ 法令等の施行経費、庁舎などの維持管理費等	△ 8%		
④ その他の政策的経費	△ 10%		
- (3) 公共事業費（国補・県単） … 建設△10%、維持 0%（全体で△ 8%）
- (4) 生活大県いばらき特別枠 … 30億円（投資的経費を含む）

（対象政策課題）	① 住みよいいばらきづくり	② 人が輝くいばらきづくり
	③ 活力あるいばらきづくり	④ 知事特認事業
- (5) 歳入創出・歳出改革推進特別枠 … 行革効果が見込まれる場合の一時経費等
行財政改革推進の観点から、歳入創出・歳出改革の効果が高いと期待できる事業について、一時的な財政負担等を要求枠に加算。
- (6) アイディアオリンピック等特別枠 … 所要額
アイディアオリンピックにおける優れた提案等のうち、施策化の必要が高いと期待できる事業について、所要額を要求枠に加算。
- (7) 事務事業再構築特別枠 … 廃止事業相当額（新規事業のみ）
施策の選択と集中を促し新たな課題へ取り組むため、事業のスクラップアンドビルドに応じた所要額を要求枠に加算。（廃止2本新規1本の場合、廃止事業相当額）
- (8) 節約奨励システム枠 … 平成25年度の創意工夫による節約相当額

3 留意事項

- (1) 各課・各グループごとにシーリングをそのまま適用するなど硬直的な予算要求とせず、部局長・課室長の主導で、横断的に抜本的な事務事業の見直しを行うこと。
- (2) 限られた財源・人員で、的確に政策目的を達成するため、業務の簡素化、無駄の排除、手順の合理化等に徹底的に取り組むこと。
- (3) 部局間の連携を密にし、県総合計画における施策展開の基本方向や、「生活大県プロジェクト」に位置づけられた施策群との整合を図ること。
- (4) 消費税については、現行税率5%で積算すること（増税分については別途調整予定）。

平成26年度一般会計予算要求の考え方



◆シーリングの考え方

- ・ 一般行政費等 (一般財源ベース) 他に政策判断を要する経費 平均 ▲6%
 - ・ 公共事業費 (歳出ベース) その他の一般行政費 平均 ▲8%
- [建設系 ▲10%, 維持系 ±0%]

◎生活大県いばらき特別枠 要求枠: 30億円 (H25: 20億円)

◎再構築枠 (新規事業のみ) 廃止事業費相当額を上限